

市政に対する一般質問

(令和6年3月18日)

◎質問1番

10番 住 安 康 一

1 能登半島地震を含めた今までの災害から学ぶ小千谷市の災害対策について

① 災害関連死対策について

- ・人工呼吸器使用者や透析患者への災害時の支援体制について
- ・在宅の災害弱者への災害関連死対策や支援のしくみについて
- ・エコノミークラス症候群の対策について

② 障がい者等のインクルーシブ防災について

③ 災害ケースマネジメントについて

2 中越大震災の伝承活動について

① 仮称「中越大震災おぢや伝承者」認定制度の創設と人材育成について

② そなえ館について

3 障がい者に対する情報の伝達について

① 障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の取り組みについて

② 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について

◎質問2番

16番 田 中 淳

1 個別避難計画について

① 令和3年5月20日付に改正災害対策基本法が施行され、その中で、自力での避難が難しい方、特に支援の優先度の高い方について、支援する人、避難先等を記載した個別避難計画の策定が自治体の努力義務と位置づけられることになりました。

この計画はおおむね令和3年から、5年程度の間各市町村が主体となって個別避難計画作成に取り組むことを努力義務として求められており、2004年新潟県中越地震から20年を迎える小千谷市の地域防災計画において『避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針』の位置付けを含め、どのように捉え考えているかを質問するものです。

この計画については自治会への説明、指導、介護サービス事業・福祉専門職等への協力、指導等を踏まえ、市役所内での横断的な組織づくりの中で取り組む事業ではありますが、特に要支援が必要な生活弱者の方、また今後増加が予想される外国人等、予期せぬ災害に見舞われた時に避難手順を作成することにより、私たち市民が迅

速な対応をもって、被害の最小化につなげるための計画策定です。

国は本事業に対し、個別避難計画の作成を各自治体の努力義務と位置付けており、新潟県内では先行自治体として福祉事業所の協力を得ながら、現在、村上市・三条市・上越市など約10の自治体がモデル地区を選定し取り組んでおり、残りの自治体も約1/2が策定中とのことです。

当市として『自治体の努力義務と位置づけられたこと』を踏まえて、どこまで計画を進めているのか、その方針や内容、本事業の進捗を含め質問いたします。

◎質問3番

6番 平澤 智

1 おぢやっ子教育プランについて

- ① ふるさと教育について
- ② キャリア教育について
- ③ 防災教育について
- ④ 特別支援教育について
- ⑤ ICT教育について
- ⑥ 家庭や地域での取組みについて
- ⑦ 地域全体での見守り体制やコミュニケーション向上について
- ⑧ おぢやっ子教育プラン全般について

2 幼保小連携政策について

- ① 幼保連携政策について
- ② 幼保小連携政策について
- ③ 保育の教育委員会部局入りについて

◎質問4番

4番 佐藤 瑞穂

1 「ホントカ。」や（仮称）小千谷市防災センターの新設により機能を失う既存公共施設の活用について

- ① 「ホントカ。」と防災センターの新設により拡大する本市公共施設の総延床面積、当面、人口減少が続く本市の人口に対する割合ほどの程度になるでしょうか。
- ② 「ホントカ。」と防災センターの新設によってこれまでの機能を失う、現在の市立図書館や上ノ山の市民学習センター楽集館の2階部分（おぢや震災ミュージアムそなえ館）について、既存の公共施設が一定の役割を終えた後の整理や活用イメージは十分な検討が進められているでしょうか。
- ③ 今後の経済状況によっては、ランニングコストと撤去までを含めた公共施設のライフサイクルコストについて、さらに負担が増える恐れがあります。市内外を取り巻く昨今の情勢変化や国の動向も踏ま

えて、役目を終えた公共施設の譲渡、貸付、あるいは解体など文字通りのスクラップも含めた整理や活用について、今後、手が打ちやすい早期のタイミングで再検討を加えるお考えはありますでしょうか。

2 空き公共施設の可能性を見出すサウンディング型市場調査の積極実施について

- ① 民間活力とアイデアで空き公共施設の可能性を見出すサウンディング型市場調査の積極的な実施や基準の策定は今後予定しているでしょうか。また、空き公共施設について民間から活用の申し出や相談があった際には、積極的に対応いただけますでしょうか。

◎質問5番

13番 佐藤 隆一

1 エネルギービジョン、地方創生に関する質問

原子力発電に伴う「避難計画」について、東京電力が事業者として「適格性」を有するかに関係して、市民の安心・安全を担保する観点から、次の事項について質問いたします。

- ① 東京電力の原子力発電事業者の「適格性」について
- ② 原発事故時の「避難計画」の実行性について
- ③ 再生可能エネルギーの普及拡大について

◎質問6番

8番 内山 博志

1 柏崎刈羽原発再稼働の対応について

- ① 実効性ある避難計画が作られていない中で、柏崎刈羽原発の再稼働の議論を始めていいのか、市長のお考えをお聞かせ下さい。
- ② 今後、県内全30市町村が参加する「原子力安全対策に関する研究会」などや新潟県に再稼働などで意見を求められた場合、避難計画が不十分のもとで柏崎刈羽原発再稼働の議論を始めるべきではない、との内容で発言をすべきと考えますが、市長のお考えを伺います。

2 あらゆる自然災害で一部損壊に対する支援について

- ① 小千谷市においても地震だけではなく、今後発生する様々な自然災害において一部損壊の被害があった場合、状況に応じた支援を行うべきと考えるが、市長のお考えを伺います。

3 市の会計年度任用職員の待遇改善について

- ① 会計年度任用職員の現在の待遇について改善すべきと思うが、お考えをお聞きします。
- ② 総務省から昨年5月、10月先に述べた通知についてどのような対応をおこなったのか伺います。
- ③ 会計年度任用職員を最低でも年収200万円以上にすべきと考えますが、いかがお考えですか。

④ 昨年の私の一般質問の答弁で会計年度任用職員の待遇改善に「勤勉手当」を前向きに検討すると答弁されていますが具体的にどうされているのか伺います。

4 学校体育館の空調設備設置について

① この機会に学校体育館の空調設備を設置するお考えがないか伺います。

◎質問7番

11番 駒井和彦

1 能登半島地震、昨今の猛暑から想定される、当市でも懸念される諸課題とその対応について

- ① 水道管の耐震化率に対する現状認識と今後の整備計画について
- ② ガス事業民間譲渡における地元管工事組合への配慮について
- ③ 今夏予想される猛暑についての農業者等への支援について
- ④ 道路啓開計画について
- ⑤ 柏崎刈羽原発再稼働について
- ⑥ インクルージブ防災について
- ⑦ 市職員採用の際の「地元枠」「ふるさと枠」の設置について
- ⑧ 過疎化が加速する市街地周辺地域に対する施策等について
- ⑨ 農村RMOのモデル地域設置の取り組みについて
- ⑩ 能登半島地震からの防災政策に反映すべき点等について

市政に対する一般質問

(令和6年3月19日)

◎質問8番

12番 森本 恵理子

- 1 避難所運営、防災に女性の視点を
 - ① 備蓄品に女性の視点を
 - ② 生理用ナプキンのトイレ設置について
 - ③ 多様なニーズに配慮した避難所運営について
- 2 ワクチン助成の姿勢に関して
 - ① ワクチン助成の姿勢に関して
- 3 G I G Aパソコン更新に関して
 - ① 更新時のパソコンの扱いについて
 - ② 更新時の機種選定について
 - ③ パソコン利用に関する学校間格差について
 - ④ ネットワーク環境について
 - ⑤ 導入三年間の振り返りについて

◎質問9番

3番 和田 忠 篤

- 1 小千谷市の人口減少対策及び少子化対策について
 - ① 『小千谷市総合戦略（令和2年（2020年）3月改訂）』における【推計における仮定値】（28頁）である①出生数（合計特殊出生率）、②純移動率（社会増減率）について
 - ② 小千谷市の人口減少に対する市民生活への影響、対応について
 - ③ 小千谷市の人口減少対策、少子化対策について
- 2 小千谷奨学会の奨学金免除制度について
 - ① 小千谷奨学会奨学生の返還免除について

◎質問10番

2番 佐藤 勝 義

- 1 宮崎市長の掲げるR e : S T A R T「市民総参加の未来づくりに挑戦」について
 - ① 若者の市外流出防止、Uターン促進のためにも、今こそ子供や若者が小千谷をもっと好きになってもらえる仕掛けづくりが大切なことと考えている。そこで、各町内P T Aや学校と一緒に、子供達が企画したイベントを応援するような取り組みも必要なのではないかと考えている。現在導入されている市民協働支援補助金のように、子供達が自ら創り出すイベント応援事業なども取り入れてみてはどうか見解を伺う。
 - ② 昨年「チームO J Y」が結成され、課題解決と実践に取り組んでいる。チームYにおいては山本山魅力再生の項目があり、その中でも、

おぢゃ〜るに関しては景観も良く野外ステージも完備されており、イベント開催には絶好な場所でもある。市民の活躍の場、大規模イベントの企画開催等で市内外から人を呼べる場として活用できると考えられるが、現状の駐車場スペースでは躊躇せざるを得ない状況である。山本山開発の一環としての今後の駐車場確保について伺う。

2 サンプラザ2F憩いエリア設置について（コミュニティの場を提供）

- ① サンプラザ2Fには多目的フロアが存在しているが、特にイベントなき時はデッドスペース化している。そこに、テーブル・椅子を常設して、誰でも利用可能な「憩いの場・学習スペース」として提供できないか伺う。

◎質問1 1番

5番 高木 健太

1 男女共同参画の現状認識と今後について

- ① 世代間意識の違いに対して、どのように考え、どのようなアプローチが必要であると考えているか。
- ② 意識変化に伴って具体的に何か組織構造など、目に見える変化は現れているか。
- ③ 重点政策プロジェクト・チーム（チームO）における、新年度の主要事業に、新規に女性活躍など「誰もが活躍できるまち」実現を目指し、官民連携による検討チームを設置とあるが、どのようなチームを構築し、どのような検討を行うのか。
- ④ 質問3点目における、チームの動きや検討内容などの情報を発信は検討されているか。
- ⑤ 男女共同参画等に関連する当市事業の計画立案において、多世代の女性の意見をヒアリングされているのか、また、今後どのようにしていくべきと考えているか。
- ⑥ 現状としてどのような課題に直面しているのか、市役所としての課題、民間企業との課題、地域との課題という3つの視点でお聞かせ下さい。また、当市から民間企業や地域への要望や協力して欲しいことがあればお聞かせください。
- ⑦ 市長は男女共同参画について、どのような危機意識をもっているか。

◎質問1 2番

1番 廣井 良宣

1 市職員の働き方改革について

- ① 特定の課及び職員に対する負荷の把握とその解消について
- ② 近隣自治体や民間事業者との比較、目標値の設定について
- ③ 客観的評価方法について

2 副市長の職務と増員について

- ① 副市長の職務内容、動静の告知について

- ② 副市長もしくは担当職員の増員について
- 3 所有者不明の土地に対する対応について
 - ① 治安・防災・固定資産税の観点からこれまでの対応について
 - ② 4月1日からの対応について
 - ③ 相談窓口の明確化、ワンストップ化、庁内の対応について

◎質問13番

15番 長谷川 有理

- 1 女性の健康支援について
 - ① アプライアンスケアの重要性について
 - ② 医療用ウィッグ等補正具などの購入費助成制度の導入を図るべき
 - ③ AYA世代や働きざかりの女性のがん検診について積極的な支援を。啓発も含めた当市の具体的な支援策を伺う。
 - ④ 女性専門外来の設置やレディースクリニックの誘致も含め、当市の女性特有の健康問題への現在の対応と今後の取り組みについて
- 2 女性活躍推進について
 - ① 「女性支援新法」施行に伴う「女性相談支援員」設置を含む相談体制について、その具体的内容と当市ではどのような民間団体との協働を育むのか、具体的な連携先と連携方法を伺う。
 - ② 当市の会計年度任用職員の女性の割合について
 - ③ 男女共同参画推進条例の制定について
- 3 能登半島地震と柏崎刈羽原子力発電所について
 - ① 能登半島地震を経て、当市の避難計画の見直しについて。地震など災害発生時の避難所等について、住民に対する周知活動等、災害時の備えを県や他の市町村と連携の上どのように進めていくべきと考えるか。
 - ② 当市の国土強靱化計画に原子力発電所について明記しているのか。
 - ③ 複合災害時の避難の方法について。また、原子力災害も含む複合災害時の避難計画の責任は自治体なのか。
 - ④ 能登半島地震で、柏崎刈羽原発から当市に通報連絡は来たのか。UPZ圏内自治体と情報伝達も含めた新協定書を締結すべきでは。
 - ⑤ 複合災害時の屋内退避の見直しについて
 - ⑥ 当市選出県議会議員は柏崎刈羽原発の再稼働について前のめりの発言をくり返していますが市長の再稼働に対する考えは同じか。

◎質問14番

14番 久保田 陽一

- 1 能登半島地震を踏まえた小千谷市の防災について
 - ① 能登半島地震発災後の小千谷市の対応。被災地へどのような支援を行い、今後はどのような支援を行うのか。
 - ② 能登半島地震を踏まえ、小千谷市地域防災計画（震災対応編）の見

- 直しは必要か。原子力規制委員会に宮崎市長自らの訴えが必要では。
- ③ 多額の支援をしている厚生連小千谷総合病院は大地震発災後も医療を継続できるのか。また、個人医院と連携し、災害時でもスムーズに医療が行えるシステムの構築はなされているのか。
 - ④ 指定避難所の防災機能設備等の小千谷市の整備状況。100%を目指してほしいが見解は。
 - ⑤ ペットの同行避難について、小千谷アニマルサポートなどとの連携・協力が必要と強く思うが見解は。予め避難所でペットの居場所を決めるべきと思うが見解は。
 - ⑥ 感震ブレーカー設置費用の助成が必要では。
 - ⑦ 避難所で女性や妊産婦、乳幼児らが安心して過ごせる配慮がなされているのか。女性や妊産婦、乳幼児向け用品についての備蓄は進んでいるのか。
 - ⑧ 小千谷市として建物の液状化対策を行っているのか。市HPにて啓発が必要と思うが見解は。
 - ⑨ 市内の防災士とどのような連携や支援を行うのか。市内のボランティア団体等とどのような連携や支援を行うのか。各種団体同士の連携も不可欠と思うが見解は。